

校内研修  
レポート

## 探究モードへ！

### なぜ、今探究学習？

様々な問題に自ら立ち向かい、その解決に向けて異なる多様な他者と協働して力を合わせながら、それぞれの状況に応じて最適な解決方法を探り出していく力を持った人材が求められる。「何ができるようになるか」のために、**どのように学ぶか**を一層重視する必要がある。（「深い学び」田村学 著より抜粋）

探究学習は知識と知識を関連づける深い学びを実現するための学び方の1つであり、習得→活用→探究を意識した単元構成が必要です。



### 自学タイム

4月2週目、2年生から6年生まで一斉に**問いづくり**にこだわった**問いだけ**の自学タイムを行いました。今年度は総合的な学習の時間にとどまらず、様々な教科で**探究学習**にチャレンジしていきたいと考えています。まず、初めに自主学習で一人で探究学習に取り組むことができるようになるために、自学タイムを設定しました。

探究学習では、「課題の設定」→「情報収集」→「整理・分析」→「まとめ・新たな問い」という4つのSTEPを進めること、その中でも**問いの立て方が大切**でよい問いとは何かということ子どもたちと共有しました。

#### 『問い』作りのヒント

**5W1H**  
(いつ・どこで・だれが・どうして・どのように)

どこで〇〇は…？  
どうして〇〇は…？

定義（ていぎ）を見つめ直してみる

そもそも〇〇って…？

**場所**をずらしてみる

アメリカの〇〇は…？  
北極の〇〇は…？

**時間**をずらしてみる

昔の〇〇は…？  
未来の〇〇は…？

#### 良い『問い』って？

「なんで？どうして？」と  
考えたくなる問い

答えが1つじゃない問い

じっさいに調べたり、  
たしかめたりできる問い

### 子どもたちのとっておきの問い

- ・ どうして教室のドアはスライド式なのか？
- ・ なぜ、学校は6時間授業が最大限なのだろう？
- ・ なぜぼうしは赤と白なのだろう？
- ・ どうして消しゴムは、えんぴつで書いたものをけせるの？

第2回自学タイムでは、次のSTEPの**情報の収集**について取り組みます。今回の自学タイムをきっかけに**頭の中に問いがあふれる問い**になる児童が増えれば良いと思います。

### 子どもたちのふりかえり

○自学はどういうものを調べたらいいのかわかった。きょうしつの中でのぎもんがいっぱい見つかってこんなぎもんがあったんだと思った。

○問いは全然ないと思っていたけど、こんなに思いつくなんてはじめて知りました。

○全く関係ないものから考えるんじゃなくて教室や学校の身近なものから考えると気になるし、調べることのできる問いを作れると知りました。